

# 平成 26 年度「学生の要望に対するアンケート」結果

学生委員会・小委員会

学生委員長・副委員長

## 1. アンケート実施方法

平成 26 年 12 月 26 日(金)～平成 27 年 1 月 23 日(金)の間、平成 26 年度在學生に回答用の電子ファイルを配付して、「学生の要望に対するアンケート」について回答を依頼した。

調査項目は、福山大学で、学習を中心とした学習施設の満足度(5項目)、福山大学の学生生活の満足度(6項目)、移動・交通についての満足度(3項目)、衛生状態の満足度(3項目)、課外活動についての満足度(2項目)で実施した。

## 2. アンケートのまとめ方と方針

### (1) アンケートのまとめ方

- ・今回は、自由記述の欄を設けて、満足か不満足かとその内容について、記述してもらった。
- ・今回は、大項目の5項目を、全体を横断的にまとめた。
- ・小項目を、満足・不満足という観点から、学生の要望を選び出すとともに、現実の状態を、忌憚なく述べてもらった。

### (2) 現状分析とその対応

学生のアンケート結果を受けて、学生委員会で分析する。良好な状態の場合は、その状態を継続させる。不満を感じる学生が増えている場合は、即、関係委員会や部署と連絡を取り合い、対応すべき事項については以下3通りの対策を立てる。大学が対応すべき事項については、下記の基本姿勢に基づき行動する。

- ・施設管理の立場から、大学側が改修・施設充実に取り組み、満足のいく状態にしていく。(大学)
- ・学生自ら、満足できる状態を求め、ボランティア活動に励む(掃除・ゴミ拾い等)。(学生)
- ・教職員と学生で協働して、汚す・散らかす・教室等の飲食・睡眠等をなくすように呼びかける。(相互)



### 3. 分析結果と所見

- (1) 学習施設について、多くの学生が、現状の中で集中して学習できる環境にあると考えている。どの部屋も冷暖房完備であり、毎日掃除はしているので黒板を含めてきれいである。この結果は、学生の回答が普通以上の学生が全体の7割5分いることから判断できる。自習室・図書館・PCルームにおいては、気持ちよく使っている様子が分かる。この施設について、8割5分から9割5分の学生は、普通以上と回答していることから満足度の高さが分かる。学内LANについては、「通信速度が遅い」とか「つながりにくい」という回答もあり、半数以上の学生が不満足と答えている。担当者と協議し、遅い原因を調査し、必要であれば改善に努める。少数意見にも耳を傾け、対応できる範囲を拡げていきたい。
- (2) アメニティーについては、ホッとするひと時を、リラックスして過ごせる環境になっているかを回答してもらったものである。食堂・コンビニ・売店・ATM・休憩室については、おおよそその学生にとって、リラックスして楽しい時間を過ごせる場になっている。その実態は、8割から8割5分の学生が普通以上に回答しているところから分かる。しかし、2割近くが不満と回答している。学生委員会内で食堂のあり方について話し合ったり、学友会に提起したりしていきたい。女子専用ルームについては、4割程度の学生が不満と答えているが、不満の内容をはっきりと捉えられていないので原因は不明である。学生達に、直接聞いてみる等によりさらに事実関係を確認した上、対応したい。
- (3) 移動・交通について、日々の自分の足になって、大学までの送り迎えをスムーズに行ったり、焦っていたりしても自家用車が停められるかを回答してもらったものである。スクールバス・駐車場・駐輪場は、共に7割4分～7割5分ほどの学生は普通以上と回答している。様々な事情を考慮して、多くの学生は納得している。2割5分～2割6分の学生は、いつも、ゆっくり、余裕を持って座ってバスでの送迎を期待していると思われる。できるだけ、その状態に近づける方法はあるのか学生とも話し合ってみたい。学内通路については、8割5分の学生が、ほぼ安全に通行できると思っている。しかし、自動車と単車の交通安全については、交通安全教室を実施してしっかり指導していきたい。
- (4) 衛生については、汚れ、いやな臭い、ゴミの散らかり等があると、大変気分を憂鬱にしまうものである。ゴミ・トイレ・喫煙所は、大変きれいに使っているし、不満もほとんど持たず安心して使用していると思う。その実態として、7割7分～8割5分の学生が、普通以上と答えている。たまに、ゴミや吸い殻が落ちていたり、トイレに紙がなかったりという状態があったりすると不愉快になると答えた学生が2割5分程度いるのが分かる。ゴミが落ちていたら、学生同士が拾いあったりすることをすすめたり、足りないものがある時は、不満に思うのではなく事務室等に知らせ、補充することを進めたりする事も大切である。

(5) 課外活動については、体育施設・文化施設共に、9割3分～9割5分の学生が普通以上と答えている。学習の疲れを身体的疲労で心地よく過ごすには大変有効な営みである。ただ、気になるのは、あまり使ったことがないと答える学生がいることである。体を動かしたり、芸術品を作ったり、鑑賞したりするように、学生には呼びかけ、体育施設や文化施設を活用させていきたい。

#### 4. 学生が感じる満足・不満のアンケート(人数と比率)

表1 アンケート結果(人数と比率)

大項目	小項目	満足	やや満足	普通	やや不満	不満
1. 学習施設	教室	38	34	74	23	0
		22.5%	20.1%	43.8%	13.6%	0.0%
	自習室	21	17	99	19	5
		13.0%	10.6%	61.5%	11.8%	3.1%
	学内LAN	7	13	48	54	44
4.2%		7.8%	28.9%	32.5%	26.5%	
図書館	5	1	11	0	1	
	27.8%	5.6%	61.1%	0.0%	5.6%	
PCルーム	19	5	67	8	4	
	18.4%	4.9%	65.0%	7.8%	3.9%	
2. アメニ ティ	食堂	22	25	84	26	8
		13.3%	15.2%	50.9%	15.8%	4.8%
	コンビニ	19	22	103	15	5
		11.6%	13.4%	62.8%	9.1%	3.0%
	売店	30	15	97	18	5
		18.2%	9.1%	58.8%	10.9%	3.0%
ATM	28	17	91	16	4	
	17.9%	10.9%	58.3%	10.3%	2.6%	
休憩室	13	7	52	14	8	
	13.8%	7.4%	55.3%	14.9%	8.5%	
女子専用ルーム	7	3	49	24	19	
	6.9%	2.9%	48.0%	23.5%	18.6%	
3. 移動・交通	スクールバス	13	10	94	26	14
		8.3%	6.4%	59.9%	16.6%	8.9%
	駐車・駐輪場	15	12	108	15	9
9.4%		7.5%	67.9%	9.4%	5.7%	
学内通路	11	7	60	10	3	
	12.1%	7.7%	65.9%	11.0%	3.3%	
4. 衛生	ゴミ	30	63	16	23	8
		21.4%	45.0%	11.4%	16.4%	5.7%
	トイレ	41	36	59	20	8
25.0%		22.0%	36.0%	12.2%	4.9%	
喫煙所	22	17	75	12	20	
	15.1%	11.6%	51.4%	8.2%	13.7%	
5. 課外活動	体育施設	13	4	102	7	2
		10.2%	3.1%	79.7%	5.5%	1.6%
文化施設	19	10	114	4	3	
	12.7%	6.7%	76.0%	2.7%	2.0%	

表2 回答率

	経済学部	人間文化学部	工学部	生命工学部	全体
対象者数	754	376	558	770	2,458
回答者数	41	29	57	42	169
回答率	5.44%	7.71%	10.22%	5.45%	6.88%

※薬学部は不明

## 5. 今回のアンケート調査を受けて

平成26年度実施での効果としては、学内施設・設備を大項目(1.学習施設について 2.アメニティーについて 3.移動・交通について 4.衛生について 5.課外活動について)として、大きく生活空間を5つに分けたことである。この分け方は、福山大学の学生には、現状では大変よく当てはまると思われる。

しかしながら、今回のアンケートについては、実施方法や回収したアンケートのまとめ方に不統一なところがあり、アンケート全体に対応するまでには至らなかった。そこで平成26年度は、アンケートの回答を収集できた範囲でまとめるにとどめた。今回は「学生の要望をくみ上げるシステムの構築」を目指しての初年度であり、不十分な点もあった。

平成27年度及び28年度に向けては、平成26年度作成の大項目を活かしながらセレッソまたはゼルコバのアンケート機能を活用し、学生たちの要望をアンケートで常に掌握できるシステムを構築できないか等を検討していく予定である。

快適な学習環境・生活環境の中で、ストレスのない雰囲気のもと、集中して学習できる環境を考えるとともに、さらに分かりやすく実態がつかめるアンケート調査を実施していく方法等を考えていきたい。大学生が大切にされ、教職員が大切にされる福山大学、多くの人が来たくなるような快適環境の整った福山大学に少しずつでも近づけていきたいと思っている。

以上